

# 令和2年度「滋賀県高等学校秋季総合体育大会」の実施について【ガイドライン】

滋賀県高等学校体育連盟

## はじめに

生徒の活動機会確保の観点から、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底するとともに参加生徒や関係者の安全が確保される前提で、年度当初の計画通り「滋賀県高等学校秋季総合体育大会」を開催します。

本ガイドラインは、一般的な競技大会を想定し、新型コロナウイルス感染防止の観点から開催に向けた諸注意等を記しています。本記載事項を御参照いただくとともに各競技の特性や中央競技団体の規則に照合しながら、できる限りの感染防止対策を講じたうえで参加生徒や関係者の安全確保を第一とした運営をお願いします。

現時点では、以下のガイドラインを遵守し、生徒をはじめ関係者の健康を守り安全な秋季総合体育大会の開催を目指しておりますが、今後の新型コロナウイルスの感染状況の拡大によっては、やむを得ず中止することがあることを申し添えます。

## I. 大会期日 基準日：令和2年10月29日（木）・30日（金）〈競技により開催日は異なる〉

【大会本部】栗東高校セミナーハウス

## II. 開催について

- 競技によって、参加人数や会場（屋内外）、競技特性（コンタクトの有無等）に違いがあるため、本ガイドラインに加え、競技に応じた対応を基本とする。
- 感染リスク（3密や感染経路）の回避が難しい競技については、協会や連盟と連携を図り、中央競技団体の大会実施の方針等を参考に開催の可否を検討する。

## III. 開催方法

- 必要最低限の人数、可能な限りの時間短縮で実施。
- 可能な限り日時や会場を分散しての開催。
- 原則無観客。（控え部員、保護者の入場は専門部ごとに規則を設定すること。）
- 試合時間に合わせて来場するなど時間差入退場の実施。
- 可能な範囲で公共交通機関の混雑時間帯を避けた大会開催の時間設定。

## IV. 競技環境の整備

- 会場の出入口に消毒液を設置、手洗いと咳エチケットの徹底、競技中以外のマスク着用の徹底。
- 屋内競技においては換気の徹底。
- 更衣室等も含め3密を避ける。
- 待機者等については社会的距離（1mを目安）を保つ。
- 感染症対策担当者を各会場に配置する。※プログラムに担当者名を記載する。
- 担当者は定期的に巡回し、ドアノブ等の消毒、3密回避の点検を行う。

## V. 選手、控え部員等への対応

- 監督、コーチ、控え部員等は大声を出さない。
- 楽器による応援、笛およびメガホンの使用は禁止する。応援は拍手や手拍子を基本とする。
- 立ち上がって踊ること、応援歌を歌うこと、エール交換等は禁止する。
- 選手・控え部員の円陣やハイタッチ等での身体接触を禁止する。
- 飲み物やタオルの共有使用をさせない。

## VI. 健康観察の実施

- 2週間前から各学校様式の健康チェック表に記入させる。  
(発熱・倦怠感等がある場合は、医療機関で受診すること。)
- 大会当日、発熱・倦怠感等、自覚症状のある者は会場に入場させない。

## VII. 開会式・閉会式について

- 原則、実施しない。

## VIII. 体調不良時の対応について

- 大会会場で突然、発熱等体調不良を訴えた場合、別室等で待機（隔離）させる。
- 公共交通機関を利用せず、保護者に迎えを依頼する。
- 周辺生徒の体調管理を徹底する。
- 以降の大会については、協議の上、原則継続する。

## IX. 部員または関係者の感染が判明した場合

- 感染者が発症したことによる臨時休業中は、当該校の全ての運動部が大会に参加できない。  
(保健所による濃厚接触者の特定や学校内の消毒終了までは、一定期間一斉の臨時休業を実施することとなる。)
- 感染者、濃厚接触者と特定された者の出場は認めない。  
(出場が承認される目安 → 感染者：医者の判断 濃厚接触者：感染者と接触のあった日から2週間)
- 大会終了後2週間以内に発症した場合は、主催者に必ず報告すること。
- 緊急時の連絡先（病院・保健所）を事前確認しておくこと。

## X その他

- 大会の開催は、文部科学省・スポーツ庁・県・県教育委員会の通知や方針が大前提になる。
- 中央競技団体等より大会自粛要請があった場合は、その指示に従う。
- 今後、社会情勢が大きく変化した場合の対応は、この限りではない。
- 突然の中止によるキャンセル料の発生については、学校、保護者に事前に説明しておく。
- 各専門部の感染症対策に係る緊急連絡先（別紙様式）を高体連事務局に提出してください。  
(すでに作成済みのものがあれば様式は問いません) 10/16㍻切
- 大会中臨時本部連絡先 [ 未定 ] 携帯 070-4402-2706

## 最後に

大会の開催にあたり、感染リスクの完全な排除は難しく、大会関係者や参加生徒の協力を得て感染リスクを最大限に減らすという考えが重要になります。

ガイドラインに限定することなく、大会に関係する方々の安全は最上位に位置づけられるものであるということを念頭に置いて、開催にあたられるようお願いいたします。